



# 「健幸都市たかはし」の実現に向けて

# 令和4年度予算審議

令和4年3月4日から24日までの21日間、令和4年第2回3月定例会が開催されました。市長からは議案53件が提出され、議案は全て可決しました。また、追加で人権擁護委員に関する人事案件が提出され、適任としました。



令和4年度予算は、令和3年4月にスタートした「高梁市総合計画」で掲げる都市像「健幸都市たかはし」の実現に向けて、まちづくりの5つの基本方針と横断的政策である「人口減少対策」「災害に強いまちづくり」、「未来革新技術の活用」に基づく取り組みを一層推進するものとなっています。

一般会計予算は253億2千万円、11の特別会計予算は合計で約102億6千万円、上水道等の公営企業会計が合計で約54億5千万円で、全体では約409億9千万円となり、令和3年度とほぼ同規模の予算となっています。

一般会計の歳入は75・87%が依存財源であり、昨年より幾分改善したとは言え依然厳しい財政状況が続いています。

歳出を目的別に見ると、前年度に比べ、民生費として高梁認定こども園施設整備事業や土木費として道路と下水道に関する予算、また新消防庁舎施設整備事業に起因して消防費が構成比のなかで増えた反面、旧吹屋小学校保存修理事業等教育施設の大規模改修が終わったことによる教育費の減、平成30年7月豪雨災害の復旧がほぼ終了し災害復旧費が減少していることが見て取れます。

次ページ以降においては、各常任委員会ごとに、主だった議案質疑内容を紹介します。



キーワードは **定住** **観光** **DX**

### 質疑ピックアップ!

## 新消防庁舎整備事業 約4億4550万円

委員会では、所管する新消防庁舎建設に関して、実施設計が遅れている理由と土地購入費の2倍以上に計上されている工物等移転補償費について質疑がありました。

実施設計の遅れは基本設計に職員の意見を取り入れる作業に時間を要しているものであり、スケジュールの遅れにはつながらない。また、工物移転補償費は解体費、移転補償費、営業補償費の概算で計上している。業者に委託して調査をしたうえで算定であり適切であると判断していると説明がありました。

## 総務文教委員会

### この政策に期待! DX推進アドバイザー事業 400万円



### 質疑ピックアップ!

## 空港～高梁直行バス運行事業 1100万円

日本遺産吹屋への観光施策について、岡山空港から吹屋への直行バス便が計画されています。首都圏でのPRやリサーチが十分できているのかという質問がありました。「コロナ禍がまだ収束していない状況では海外からのインバウンドの観光客を見込むのは厳しいのではないか。」との意見がありました。

## 産業経済委員会

### この政策に期待! 新規就農総合対策事業 2667万円



### 質疑ピックアップ!

## 高梁市国民健康保険成羽病院事業会計予算について

高梁市川上医療センターについて、成羽病院の付属施設に移行する方向性が示されたことから、今年度策定する経営強化プランについて質疑がありました。執行部からは、病床再編や経営見直しに加えて、医師の働き方改革、感染症拡大に関する平時からの対応について検討する。また、西部地域の医療については成羽病院が基幹となつて考えていくとの答弁がありました。

令和2年度に約1億円の欠損金が出ており、令和3年度もある程度の欠損金が予想されることから今後の経営について質問があり、付属施設の範囲が広がることで基準内繰入のみで対応できない際には一般会計からの補填をお願いする必要がありますと答弁がありました。

## 市民生活委員会

### この政策に期待! 若い世代の定住促進の強化 1億840万円

### 「シビックプライド」

地域をより良い場所にするために、自分自身が関わっているという当事者意識や自負心。移住した町にも向けられるため郷土愛とは別の意味で使われる。

### 「シティプロモーション」

地域の魅力を内外へ発信し、人・モノ・金を呼び込み、その地域の経済を活性化させる活動のこと。

### 「DX」

デジタルトランスフォーメーションの略語。デジタル技術を効果的に活用し、組織の仕組みを戦略的・構造的に再構築していくこと。